

# 令和元年度事業報告

令和元年4月1日から令和2年3月31日まで

一般社団法人日本小児血液・がん学会

## 1 事業実施の方針

小児血液疾患及び小児がん領域の学術活動、教育活動、社会啓発及び資格認定等を行うことにより、我が国の小児血液疾患及び小児がん医療の向上に寄与することを目的とする。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
学術集会、研究発表会、講演会の開催事業	学術集会を開催し、研究発表を通じて最新の情報や技術の普及を図る。	令和元年11月	広島県広島市	約50名	小児血液疾患・小児がん医療関係者約1,900名	47,207
学会誌及び論文図書等の刊行事業	小児血液疾患及び小児がんに関する機関誌を発行し、学術情報を発信する。	通年(随時)	当法人事務所 ならびに 京都(中西印刷)	約20名	小児血液疾患・小児がん医療関係者約2,000名	9,633
研究の奨励及び研究業績の表彰事業	小児血液疾患及び小児がんに関する研究の奨励及び表彰を実施する。	通年(随時)	学術集会にて	約10名	小児血液疾患・小児がん医療関係者約4名	300
小児血液疾患及び小児がん領域の調査研究事業	小児血液疾患及び小児がんの疫学研究事業の実施運営。また、薬剤や診療報酬改定に向けた提言のための調査等を行う。	通年(随時)	当法人事務所等	約40名	小児血液疾患・小児がん医療関係者約2,500名	5,247
教育・研修、並びに資格認定事業	教育セミナーの実施及び小児血液・がん専門医制度を確立し、資格認定を実施する。	通年(随時)	当法人事務所等	約100名	小児血液疾患・小児がん医療関係者約2,000名	4,484
社会啓発、並びに普及活動	小児血液疾患・小児がん医療に関する情報提供を行い、広く啓発普及を図る。	通年(随時)	当法人HP等	約20名	小児血液疾患・小児がん医療関係者約2,000名	2,736
その他目的を達成するために必要な事業	長期フォローアップを担当する多職種協働チームの育成及び支援	通年(随時)	全国各地	約40名	小児血液疾患・小児がん医療関係者約100名	26,975